

■現行積算システム及び想定する次期積算システム（案）の概要

別紙 1

項目		現行積算システム	次期積算システム（案）
運用期間	自	平成28年4月1日	平成33年4月1日
	至	平成33年3月31日	平成38年3月31日
年間設計書作成本数		約40,000本（変更設計含む）	同左
システム構築方式		独自サーバ方式	独自サーバ方式またはサービス提供方式
システム方式		・ Microsoft Windows8.1、10利用 ・ WEBブラウザ利用 ・ Oracle Java8（JRE8）利用	同左 ・ 柔軟な操作性とレスポンスを確保すること。 ・ ユーザの負担を低減すること。
ネット ワーク	三重県	三重県行政WAN	三重県行政WAN（独自サーバ方式） インターネット（サービス利用方式）
	共同利用 団体	インターネット （仮想デスクトップ含む）	同左
改修履歴 （別契約） 三重県 独自機能 の改修 業務委託	平成 28年度	積算参考資料帳票追加 （価格算定の条件明示）	・ 「積算参考資料帳票出力機能」及び「予定価格事後公表機能」について、次期積算システムへ継承する。
	平成 29年度	事後公表機能追加 （正規金額を隠したうえで概算金額で積算発注ができること。 ただし正規の積算金額ランクの確認ができること。）	
	平成 30年度	事後公表機能追加その2 （積算ログ改善・画面色変更）	
機能概要	積算機能	①工事 （土木、水道・工水、港湾・水産、 土地改良、森林林業、下水道機 械・電気設備、公営電気） ②機械、電気 （土木機械設備、土地改良施設機 械、土木機械点検設備点検） ③業務委託 （土木・下水道・港湾、水道・工 水、水産、土地改良、森林林業） の各積算基準および独自歩掛	・ 現行積算システムの機能を継承する。 ・ 不足している機能の拡充・改善を図る。 ・ 各職種で販売されている全国標準データ （JACICデータ等）を使用することで歩掛の 適用誤りを防止する。 ・ 国の機関が発表する積算基準の改定につ いて、遅滞なく対応する。
	帳票出力 機能	①金入り設計書 ②金抜き仕様書 ③機労材集計表 ④積算参考資料（三重県独自） 等	・ 現行積算システムの機能を継承する。 ・ 施工パッケージの計算過程表示等の 改善を図る。
	積算支援 機能	①出来高計算 ②スライド計算 ③機労材集計 ④設計書流用機能 ⑤積算基準の参照機能 等	・ 現行機能を継承する。 ・ 各種積算支援機能の追加し、積算業務に 要する時間の短縮と違算の防止を図る。 ⑥工期設定支援システムとの連携 ⑦水替え日数・交通誘導員配置日数の積上 げ支援 ⑧1日未満となる工事の積算支援 ⑨建設廃棄物運搬処分の経済比較 ⑩積算作業の外部委託機能
	管理機能	①ユーザ管理 ②設計書管理 ③利用ログ 等	同左
	データ 抽出機能	要	同左
運用時間	積算システム	24時間365日	同左
	ヘルプデスク	平日9:00～17:00	同左